



青組に進級して一ヶ月が経とうとしています。子ども達は少しずつ新しい環境に慣れてきたようで沢山の笑顔が見られて、私たち保育教諭もほっとしています。年長児として、小さい子に対して優しくしようとする姿も見られるようになってきました。みどり組、あか組の手を引いて戸外で一緒に遊んだり、泣いている子に優しく声を掛けたりしています。しかし、“青組だから頑張らないと”という気持ちで気を張り過ぎてしまっている子も中にはいるかもしれないので、子ども達一人ひとりの様子を見ながらリラックスして園生活を送ることが出来るように関わっていこうと思っています。

昨年がんばるぞうで色々なことが身に付きました。今年もさらに力が身につくように、また今月から毎月テーマを決めて取り組んでいきたいと思ひます。



<20の階段>

桃組のころに『がんばるぞう』で毎月1つずつテーマを決めて、10個のことを頑張ってきました。今年“20の階段”に名前を変えて、引き続き取り組んでいこうと思ひます。小学校に向けて色々なことが出来るように目標立てていきます。時には、保護者の方へお願いすることがあると思ひますがご協力お願いします。



- ① 廊下は右側を歩きます。
- ② 止まれのマークがあるところでは、止まって右左を見て渡ります。
- ③ 渡り廊下には、ガラス張りの面があります。安全に廊下を渡るにはどうするとよいか考えます。

<子どもが安心して元気に生活できるために保育教諭が子どもにすること>

- * 年長児になった喜びと不安に揺れ動く気持ちがある中で、一人ひとりに丁寧に対応します。
- * 生活の中で適度な休息をとり、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を和らげます。
- * 遊具、玩具の点検をし、安全に十分留意すると共に、安全な使い方を知らせていきます。
- * 一人ひとりの子どもの気持ちを温かく受け止め、遊びや生活の中で自分の思いや要求を素直に表せるように、保育教諭との信頼関係をしっかりと築くようにします。
- * 気温や体調に合わせて衣服の調節、水分補給が出来るよう、一人ひとりの様子に気を配っていきます。
- * 身の周りのことを、自分から進んで行おうとする意欲が持てるようにします。



<子どもの遊びや教育的活動>

- * 自分の身の周りの始末を自分から進んでしようとします。
- * ルールのある遊びを通して友達と関わりながら身体を十分に動かして遊びます。
- * 砂・土・泥の性質に気付き、友達と試したり工夫して遊びます。
- * 散歩や戸外遊びを通して、身近な自然に興味を持ち、植物や虫に触れます。
- * 自分の思いや考えを言葉で相手に分かるように伝えます。
- * 発見したことを保育教諭や友達に知らせて感動を共有します。



- * 暖かくなり、戸外での活動も活発になります。水を使っての遊びが増えたり、汗をかくことが多くなります。園に着替えを置いて頂いていますが、着替えて持ち帰りましたら、次の日に代わりのものを持たせて下さい。ビニール袋の補充もお願いします。
- * 歯ブラシを毎日持たせて下さい。自分の物と分かるように必ず名前の記入をお願いします。
- * これから様々な運動遊びをしていきます。女の子も運動や活動がしやすいズボン、キュロットで登園して下さい。
- * ハンカチを持たせて下さい。朝、スモックに入っているハンカチを私服に入れ替えます。ポケットのあるズボン、キュロットをはいてきて下さい。



<外で楽しく遊んでいるよ>

天気もよくたくさん戸外で遊ぶ時間があります。青組になって自分たちがお兄さん、お姉さんという気持ちを持っているので小さい子にとっても優しく接しています。一緒に手を繋いでままごと遊びに誘ったり、色水遊びをしているところをじっと見つめている赤組の子に遊び方を教えてあげる子もいます。また、泣いている子がいると名札を見て部屋まで連れて行ってくれる頼もしい青組です。外に出ると「ドッジボールやろう」と色々な子を誘い、「今当たったよ」「やったー、当てた」と言いながら遊んでいます。時に友達の顔にボールが当たってしまうときもあります。そんな時は「ごめんね」「いいよ」のやりとりがあり、桃組のころにやった”がんばるぞう”が身につけていてとても嬉しく思います。片付けの時間になると園庭のあちらこちらを見回り、パトロール隊になって落ちているカップや皿、乗り物を元の場所へと片付けてくれます。ほうきを使って、遊具の砂をきれいにはき出してくれる子もいます。今後も天気のいい日にはたくさん戸外で遊びたいと思います。また、クラスみんなで出来る遊びもしていきたいなと思います。

